

耳川水系総合土砂管理計画

平成27年 7月

宮崎県

目次

はじめに

県土整備部長 児玉 宏紀

I 耳川水系総合土砂管理計画要旨

1 耳川水系総合土砂管理の背景

II 耳川水系総合土砂管理計画本文

1 「基本的な考え方」

2 「行動計画」

あとがき

耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会委員長

杉尾 哲

I 耳川水系総合土砂管理計画要旨

1 耳川水系総合土砂管理の背景

耳川水系では、近年において平成5年の台風7号から平成17年9月の台風14号までの過去15年間に4回の大きな浸水被害を受けました。

耳川における浸水被害は河川やダムへ流入してくる土砂の堆積がその原因の一つとなっていることから、山地を含めた流域全体での総合土砂管理について検討していくことが大きな課題となっていました。

このようなことから、耳川水系の山地から河川、ダム、河口域までの土砂に起因する様々な課題に対して、関係機関と情報を共有しながら連携・協力し、総合的な土砂管理の課題解決に向けて、技術的に検討することを目的に、学識経験者等からなる耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会を設置しました。

総合土砂管理の実施にあたっては、関係市町村、関係者、地域の方々の合意形成が重要であることから、地域の方々を含めて議論する場としてワーキンググループを設置し、流域共通の目標である「基本的な考え方」と、役割分担を明確にした「行動計画」とで構成された「耳川水系総合土砂管理計画」を策定しました。

「耳川水系総合土砂管理計画」の策定経緯

○平成 21 年 7 月：第 1 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

○平成 22 年 1 月：第 2 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

・平成 22 年 3 月：第 1 回 河口・海岸領域ワーキング

・平成 22 年 7 月：第 1 回 ダム・河道領域ワーキング

・平成 22 年 9 月：第 1 回 山地領域ワーキング

・平成 22 年 11 月：第 2 回 河口・海岸領域ワーキング

・平成 22 年 12 月：第 2 回 ダム・河道領域ワーキング

・平成 22 年 12 月：第 2 回 山地領域ワーキング

延べ 9 回の
ワーキングを
実施

○平成 23 年 2 月：第 3 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

※「基本的な考え方」(原案) 提示

・平成 23 年 3 月：地元説明会 (日向市美々津地区、日向市東郷地区)

・平成 23 年 5 月：地元説明会 (美郷町、椎葉村、諸塚村)

延べ 5 回の
地元説明会
を実施

○平成 23 年 7 月：第 4 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

※「基本的な考え方」策定、「行動計画」(素案) 提示

・平成 23 年 8 月：第 3 回 河口・海岸領域ワーキング

・平成 23 年 9 月：第 3 回 ダム・河道領域ワーキング

・平成 23 年 10 月：第 3 回 山地領域ワーキング

○平成 23 年 10 月：第 5 回 耳川水系総合土砂管理に関する技術検討会

※「行動計画」策定

Ⅱ 耳川水系総合土砂管理計画本文

1 「基本的な考え方」

2 「行動計画」